

Keep In Good Health

献血について知ろう！

生徒保健委員作成

献血ってどうして必要なの？

病気やケガで血液が必要な患者さんは、健康な人の血液を補給して治療する必要があります。（輸血といいます）

その輸血に欠かせないのが「献血」です。

献血とは、輸血を受ける患者さんのために、自分の血液を無償で提供する事です。



献血が必要なわけ

① 人工的に造れない

現代は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、血液は未だに人工的に造ることができません。だから、「献血」で沢山の人の血液を集めるしかないのです。

② 長期保存ができない

血液は生きた細胞の集まりなので、長い間保存が出来ません。いつでも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくては行けません。

③ 1日約3000人！

これは、なんと輸血を受けている患者さんの数です。毎日、こんなに多くの患者さんが、血液を必要としています。

④ 最多はがん治療！

輸血はどのような時に使われるのでしょうか？多くはがん治療で、約40%を占めます。このような病気の治療で、血液は常に必要とされています。

献血にご協力を！

今、時代は少子高齢社会。しかし、若年層の献血者が減少しています。この状況がずっと続くと、血液を必要とする患者さんに、血液が届けられない事態になってしまいます。そんな事態にならないよう、一人でも多くの方、特に若い世代の方に、献血に協力してもらい必要があるのです。皆様のご協力をお願いいたします。

